

第324回 昭和の森自然観察会

生き物たちの冬支度

藤田浩二（茂原市）

日 時：2018年12月9日（日）13～15時 天候：晴れ

参 加 者：13名（子ども5名、大人8名）

担当指導員：小川洋子 藤田浩二、全指導員数12名

今回の観察のテーマは、生き物（哺乳類・鳥類・昆虫類・植物）が、寒い冬をどう過ごしているのかを観察しました。

哺乳類では、モグラ塚を観察しました。メダケの先にコルクを取り付けた探索棒で、参加者各自で探索してもらいました。モグラのおおよその縄張りを実感してもらったり、写真絵本や手作り模型で、生態についても理解していただきました。

鳥類では、切り株にハクウンボクの種が貯食されているのを発見し、たぶんヤマガラの仕業ではないかと、皆で想像しました。

昆虫では、ケヤキ・エノキ等の表皮の裏に、ゾウムシやハムシの仲間が沢山みつかりました。ほとんどが2～3mmと小さいのですが、子供達は積極的に探してくれました。

植物では、コブシの冬芽を観察し、フユイチゴのおやつタイムも楽しみました。

一見生き物が少ないと思えるこの時期でも、観ようとする目をもてば、様々な冬越し中の生き物たちに出逢えることを体験してもらえたと思います。



こんなところにかくれてる！！



モグラのお宅拝見！



この紫色の実はなに？？



このあかい実は・・・オイシイ！！